

「中学生の音楽1」(令和3年度用～)  
p.21「My Melody」展開例

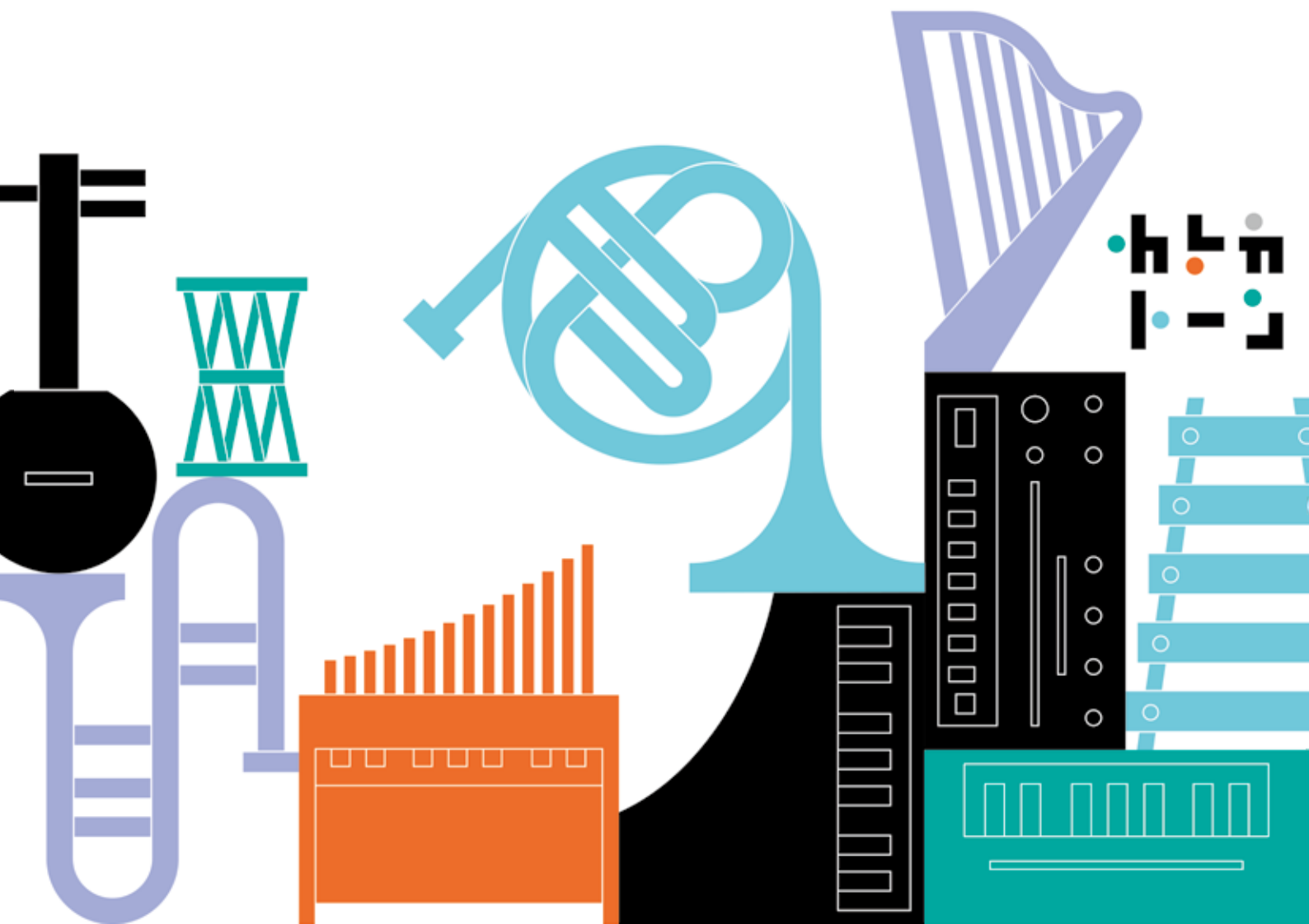
※本資料では、弊社で試験公開中の「カトカトーン」を  
使用した事例をご紹介します。

「カトカトーン」の活用例や  
オススメ情報をお届けします!

# カトカトーン 通信

vol. 1

教育芸術社



# My Melody

音のつながり方の特徴を生かして  
旋律をつくろう。

## SUPPORT

トラック2に和音があらかじめ  
入力されたプロジェクトファイル  
は、下の二次元コードからダ  
ウンロードできる。  
事前に生徒に配付  
しておくとうい。



## SUPPORT

●オタマチョップは、本教材の  
最小単位となる8分音符に設  
定されている。



●初期設定よりも長い音価の  
ノート(音)を入力する場合は、  
入力後、そのまま伸ばしたい  
分だけ右にドラッグしても、  
ノートの長さを変更すること  
ができる。

## POINT

表したい創作表現を円滑に創作  
工夫して行うことができるよう  
にするための下準備である。

## SUPPORT

ある程度まとまったところでプ  
ロジェクトファイルを保存して  
おくとうい(詳細は最終ページ  
参照)。なお、保存するたびに新  
しいファイルができ、上書きさ  
れないため、ファイル名を変え  
るなど工夫をして管理する。

## SUPPORT

トラックの再生や停止は画面上  
部のボタンで行う。その際、  
ミュートをオフにして、音が出  
る状態にしておく。



## POINT

カトカトーンを用いる場合でも、  
自分がつくりたい旋律の音の動  
きをイメージしたり、自分が工  
夫した点を言語化したりするな  
ど、思いや意図をもって創作す  
ることが大切である。

## STEP1

和音が入力されたプロジェクトファイルを開く

カトカトーンを開き、  
【ファイルを開く】を選ぶ。



「1\_mymelody (.ktk)」という  
ファイルを開く。

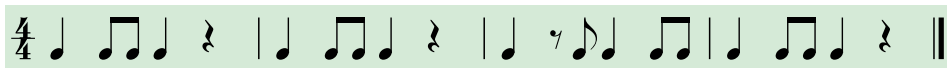


1\_mymelody.ktk

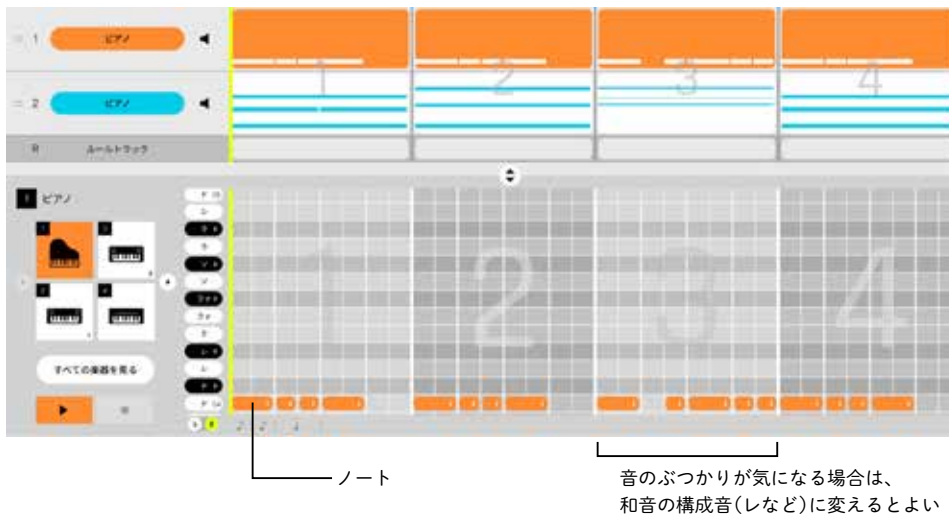
## STEP2

「リズムチャレンジ」(教科書 p.17) でつくったリズムを、  
同一音(ド(C4)など)でトラック1に打ち込む

つくったリズムの例



つくったリズムを打ち込んだカトカトーンの画面



つくったデータを適宜保存する。



## STEP3

打ち込んだリズムと和音を繰り返し再生したり、  
それに合わせてリズムを手拍子で打ったりして、  
自分がつくりたい旋律の音の動きをイメージする

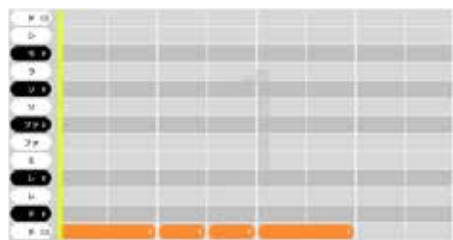
## STEP4

### 表したいイメージに合わせて ノートの音高を変更し、旋律をつくる

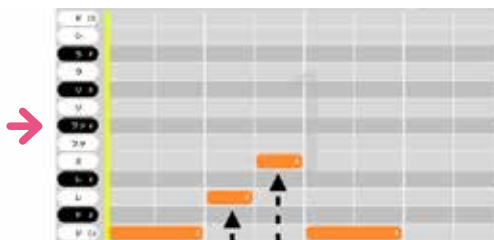
STEP 2で打ち込んだノートを上下に動かして、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくる。旋律ができたなら再生して、イメージに合った音のつながり方になっているかを確認する。中間発表をしてつくった旋律について意見交換をし、それを参考に旋律を完成させる。

打ち込んだノートを動かしている様子

Before



After



## POINT

- 再生機能を活用することで、生徒は演奏技能に左右されずに創作の学習に集中できる。
- 「使う音」は、教科書のようにある程度制約したほうが指導しやすい。
- 発表の際に、音だけでなく視覚的にも作品を確認しやすくなるため、他者への共有がスムーズとなる。その結果創作表現に対する思いや意図を確認し合えて、共感を促すきっかけとなる。

## POINT

音色の選択は「課題」には含まれないが、生徒の興味・関心を高めるために活用するとよい。なお、このファイルの初期設定は「ピアノ」になっている。

## POINT

- 打ち込んだ内容が五線譜になることで、より達成感が味わえる。
- 音のつながり方をどのように工夫したかについて、アプリの画面上だけでなく、五線譜で表記することで、より音楽的な視点で振り返ることができる。

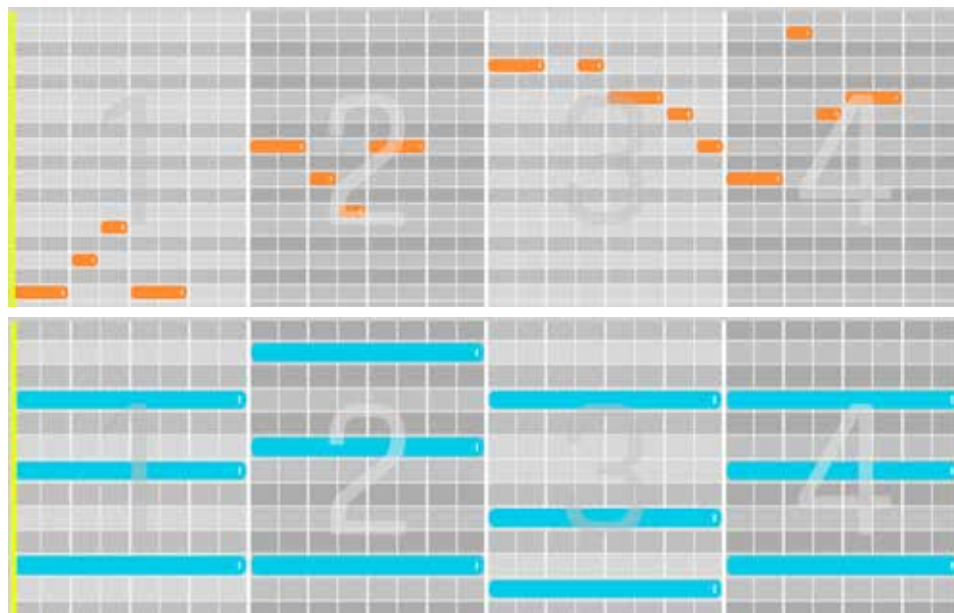
## 寄り道 好きな音色を探して変更してもよい

トラックごとに音色が設定できるので、別々の音色を選んでもよい。

## STEP5

### 完成したファイルを五線譜に変換して提出する

ファイル ボタンの【楽譜で書き出す】を選択して五線譜にする。



五線譜で示したもの



## SUPPORT

- 五線譜は PDF ファイルで保存される。その他、MP3 ファイルや MIDI ファイルで保存することもできる。
- ファイルの提出や共有は、学習支援ソフトウェア等を用いる。

SUPPORT : 操作上の補足説明

POINT : 指導上のポイント

ADVICE : 発展的な内容

## Challenge

### 自分の好きなコード進行で旋律をつくる

「中学生の器楽」の「アンサンブル」(p.76～85) や、自分の好きなアーティストの曲から気に入ったコード進行を選んで応用するとよい。

## ADVICE

ポピュラー音楽のコード進行の例 (プロジェクトファイル)。



## 操作方法

### プロジェクトファイルの読み込み方



### プロジェクトファイルの保存の仕方



カトカトーン4つのポイント

- WEBブラウザを通じて無料で使用できる
- 簡単な操作で打ち込みができる
- 100種類以上の音を選べる
- つくった音楽を共有できる



本編でつくられた  
ファイル



使い方・資料  
(マニュアル)

本資料の二次元コードからアクセスできるデータは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/info/>

「カトカトーン」は、2024年3月まで試験公開を行い、2024年4月に正式公開を予定しています。詳しくは右のウェブサイトをご参照ください。なお、正式公開時は画面や操作方法等が変更となる場合があります。



2023年12月発行

株式会社 教育芸術社

〒171-0051

東京都豊島区长崎1丁目12番14号

Tel : 03-3957-1175 (代)

Fax : 03-3957-1174

